救助工作車　仕様書

第１　入札案件

品　　名　　救助工作車
数　　量　　１台
納入期限　　平成２４年１０月３日
納入場所　　鳥取県倉吉市八屋３０７－４　鳥取中部ふるさと広域連合消防局

第２　総則

２－１　目的

この仕様書は、鳥取中部ふるさと広域連合消防局（以下「発注者」という。）が平成２４年度に購入する救助工作車について、必要な事項を定めることを目的とする。

２－２　概要

（１）　救助工作車は、平成２４年度に公表製作されたものであること。また、当救助工作車は、消防局が示す資機材、取付品及び附属品等を装備するほか、本仕様書を十分に満足し得るよう艤装するものとする。

（２）　規格は、救助隊の編成、装備及び配置の基準を定める省令（昭和６１年自治省令第２２号）及び緊急消防援助隊設備整備費補助金交付要綱（平成１８年４月１日消防消第４９号）の救助工作車、救助用資機材及び高度救助用資機材の規格を準用する。

（３）　本仕様書の記載事項について、変更しようとするときは、理由書及び図面を付して消防局の承認を得ること。また、疑義が生じたときは、消防局の指示を得ること。

２－３　適合法令

救助工作車は、次に掲げる法令その他の関係法令及び通達に適合し、全ての条件を具備すること。

（１）　道路運送車両法（昭和２６年法律第１８５号）
（２）　道路運送車両の保安基準（昭和２６年運輸省令第６７号）
（３）　道路交通法（昭和３５年法律第１０５号）
（４）　道路交通法施行令（昭和３５年政令第２７０号）

２－４　提出書類

（１）　承認図書

契約後３０日以内に次の書類を２部Ａ４ファイル綴として製本し、提出の上、消防局の承認を得ること。

ア　主要諸元表
イ　艤装図（前面、後面、右側面、左側面、上面）
ウ　シャシー諸元表及び組立図
エ　電気系統図及び配線図（電線、容量等）
オ　動力伝達関係図
カ　器材積載関係図
キ　クレーン関係図
ク　ウインチ関係図
ケ　発電照明関係図
コ　作業工程表

（２）完成図書

完成納入時に次の書類を２部Ａ４ファイル綴として製本し、提出すること。

ア　完成時の承認図書一式
イ　車両荷重計算書
ウ　最終艤装五面図（前面、後面、右側面、左側面、上面）
エ　電気配線図

オ　改造自動車等届出書（写）
カ　各主要部品及び積載機材一覧表（製造会社、住所、電話番号等）
キ　車両写真（前面、後面、右側面、左側面、上面）各扉、シャッター開閉状態のもの。
ク　価格内訳書
ケ　取扱説明書及び保証書（シャシー、取付品、附属品他）

（３）　その他消防局で指示したもの

２－５　検査

仕様書及び承認書類に基づき、中間検査（１回以上）及び完成検査（艤装構造検査、附属品及び部品検査、運転試験）を消防局が指定した場所で受けること。

２－６　回送及び納入

救助工作車は、艤装完成後新規登録を終え、消防局へ納入するものとし、回送等による一切の費用は、受注者の負担とする。

２－７　登録手続の代行、経費の負担

（１）　新規登録検査及び緊急自動車指定申請手続を代行し、当該検査及び指定手続を受けた後納入すること。また、新規登録に際し、消防局で積載を予定する資機材を重量計算に入れて登録を行うこと。

（２）　新規登録に係る経費のうち、自動車損害賠償責任保険、自動車重量税、リサイクル料及び印紙代については、発注者の負担とする。

２－８　補則

（１）　納入後、艤装関係について材質の不良及び製作の不備により生じた故障又は破損について、救助工作車を納入した日から１２ヶ月間受注者がその責任において無償で修理するものとする。

（２）　発注者は、１２ヶ月間経過した後においても、重大な製作上の瑕疵によって生じた故障又は破損については、受注者と協議の上、無償で修理を行わせることができるものとする。

（３）　受注者は、車両及び資機材等の取扱説明等を２日間以上、消防局が指定する日程で行うこと。取扱説明等に係る物品及び費用は、受注者で負担すること。

（４）　この仕様書に記載のない事項にあっては、補助対象規格に基づくものとする。

第３　車両の仕様

３－１　シャシー

消防専用シャシー５．５ｔ級ダブルキャブ型４ＷＤの最新型で消防検定品とし、次の機能を有するものとする。

（１）	乗車定員	６人以上
（２）	総排気量	５，０００ｃｃ以上
（３）	最高出力	消防検定出力及び公称出力２２０ＰＳ以上
（４）	ホイルベース	３，５００mm以上４，０００mm以内
（５）	駆動型式	低床式４輪駆動
（６）	変速機	マニュアルミッション
（７）	安全装置	ＡＢＳ装置、運転席エアバック付
（８）	空調エアコン	純正品
（９）	各種計器類	エンジン回転計、油温計、アワーメーター及び電流計
(10)	スプリング	バネ定数の高い強化スプリングとすること。
(11)	オルタネーター	２４Ｖ－９０Ａ以上
(12)	バッテリー	２４Ｖ－１００ＡＨ以上、２個、スライド格納式、カバー付 バッテリー充電器一式（車両積載式管理器）
(13)	オイルパンヒーター	１０ｍコード付

(14)	バックランプ	左右各１個、後退警報器
(15)	ヘッドライト	ＨＩＤ
(16)	燃料タンク	容量１００リットル以上、保護枠付
(17)	走行装置	パワーステアリング
(18)	ウィンドー	前後ドア電動式
(19)	ドアバイザー	各ドア上部、ワイド型（車両純正品）
(20)	サンバイザー	運転席及び助手席（車両純正品）
(21)	サイドミラー	助手席側電動格納式、クロームメッキ仕上げ
(22)	フロアマット	全席
(23)	シート	全席ビニール製
(24)	施錠	集中ドアロック機能、キーレスエントリー式
(25)	カーナビ	カロッツェリアＡＶＩＣ‐ＭＲＺ０７又は同等品
(26)	バックカメラ	カロッツェリアＮＤ‐ＢＣ５又は同等品、駐車アシスト線表示
(27)	泥除け	全輪取付け
(28)	ナンバーフレーム	前後一式
(29)	車両整備工具	純正品
(30)	停止表示板	１個、収納箱入
(31)	タイヤ	スタッドレスタイヤ常覆、アルミホイール
(32)	車輪止	樹脂又はゴム製、４個
(33)	チェーン	ＳＣＣ ＪＡＰＡＮ製 ハイブリッド（ケーブルチェーン）又は同等品、サイズ適応するもの

３－２　艤装

３－２－１　一般事項

（１）　艤装材料

ア　キャブ及びドアは、メーカー標準仕様とする。

イ　ボディーは、１．６ｍｍ程度のボンデ鋼板又は同等以上のものとする。

ウ　フェンダーは、１．０ｍｍ程度のボンデ鋼板又は同等以上のものとする。

エ　ボディー骨組材は、構造用圧延鋼（錆止め加工済）又は同等以上のものとする。

オ　リヤ、サイドステップ、各ステップ及び天板は、３．５ｍｍ以上のアルミ縞板又は同等以上のものとする。

（２）　艤装は努めてアルミ板、ステンレス鋼及び繊維強化プラスチックを使用し、重量軽減を図り、車体重量のバランスを考慮し、製作に当たること。

（３）　防錆、防水及び耐水性を十分考慮し、製作に当たること。

（４）　骨組とボディーの組み付けには、十分な錆止め処置を施し、錆の発生を防止する処置を施すこと。

（５）　シャシーに骨組を取り付ける時は、リベット継手又はボルト締めとし、主要部は、ダブルナット等により緩み防止処置を施すこと。

（６）　すべての切断、溶接等の加工部は十分な錆止め処置を施すことのほか、外傷防止の処置を講ずること。

（７）　資機材の出し入れ等で車体に損傷を及ぼす可能性がある箇所を、アルミ保護板等により保護すること。

（８）　点検口又は点検扉を必要な箇所に設けること。

（９）　側板及びステップは、端部周辺を折り曲げ、切断面の返りは、仕上げ処理をし、身体に危害が及ばないようにすること。

(10)　側板とステップ及びフェンダーと交わる部分は、錆の発生を防止する充分な防錆処置を施すこと。

３－２－２　キャブの艤装

（１）　外　部

ア　キャブルーフは、流線形の嵩上げルーフを取り付けること。
イ　キャブルーフ赤色警光灯は、流線形の嵩上げルーフと一体型で、凹凸のない仕上げとすること。内部にはＬＥＤ灯及び回転灯式左右各１個設けること。
ウ　キャブルーフ一体型サイレン用スピーカー及びモーターサイレンを前方中央部に設けること。
エ　キャブルーフ側面左右にＬＥＤ補助赤色警光灯、ウィレンＣＳ６００Ｌ２４又は同等品を左右各１個取り付けること。
オ　標識灯をキャブルーフ側面又は収納庫嵩上げ部に埋め込み式で取り付けること。
カ　キャブ左後部に、旗立て用パイプ（ステンレス製）を取り付けること。
キ　前後席の乗降に必要な手摺りを設けること。
ク　後部座席の昇降ステップは、アルミ縞板とすること。
ケ　キャブ後方両側の下部には、ボックスを設け、右側は機材収納庫とし、左側はバッテリーを格納する。
コ　消防章（外径１５０㎜以上）をフロントグリル中央に取り付けること。
サ　フロントグリルは、クロームメッキ仕上げとすること。
シ　フロントバンパースポイラーを取り付けること。
ス　各ドアのフェンダー部及び切り込み部分にアルミ縞板を張ること。
セ　各ドア又はステップ周囲に小型ＬＥＤ足元灯を取り付けること。

（２）内部
ア　座席は、前部２席及び後部４席とし、ビニールシートとすること。
イ　空気呼吸器を後席４基（ワンタッチ式取付装置）に設け、面体を掛けるためのフックを乗車に支障のないよう取り付けること。また、遠距離走行時の乗車隊員の疲労負担を考慮し、背もたれ等の措置を施すこと。
ウ　収納スペースを前部座席下（スライド式）と後部座席下に設けること。また、シートは、２分割で跳ね上げ式とする。
エ　前部座席中央席を取り外し、集中コンソールボックス及び物入れを設けること。
オ　集中コンソールボックス後方に、地図等を入れる金属製箱Ａ３サイズを取り付けること。
カ　ステンレス製握り棒（外形２５㎜以上）を前後席間に取り付け、小物等を掛けられる可動式フック６個を取り付けること。
キ　空気呼吸器取付位置付近（別途指示）には、小物類をかけるフックを取り付けること。
ク　屋根上部の取付品の配線等が、容易に点検修理ができる措置を施すこと。
ケ　車内天井等にネットシェルフを２ヶ所取り付けること。
コ　合図灯収納を取り出しやすい位置に取り付けること。

３－２－３　電装品
（１）　電装品の取付け及び配線工事は、それぞれの電装品の容量に見合った配線及びヒューズを使用すること。また､ボディーの配線貫通部は､グロメット等で保護すること。
（２）　各配線は色分けをしてキャビン内の集合スイッチ盤で結線し、ヒューズボックス（名称及び容量を記入）で配線すること。
（３）　メインスイッチを容易に操作できる場所に設け、時計以外のすべての電源を遮断できること。

３－２－４　無線機及びＡＶＭ端末装置（ＧＰＳ付）
（１）　無線機とＡＶＭ端末装置は旧車両から取り外した上で移設し、使用良好な状態にすること。
（２）　無線機移設に伴い、電波法（昭和２５年法律第１３１号）の規程による申請及び届出等を行うこと。
（３）　無線機等の取付け及び申請等に係る費用は、全て受注者の負担とする。
（４）　無線機のアンテナ、配線、送受話器、スピーカー等は、新品を使用すること。また、各配線は、フレキシブルパイプで配線保護し、長さ容量とも十分な余裕を取り、貫通部、接

続部等の保護及び防水措置を完全に行うこと。
（５）　無線機をコンソールボックス付近に設置し、運転席及び助手席双方から容易に操作できるようにすること。
（６）　無線スピーカー１個をキャビン内部の最適な場所に取り付けること。
（７）　車外の側面左右に無線専用のボックスを設け、副送受話器、外部スピーカー及びＡＶＭ端末外部設定機を設置すること。
（８）　将来の無線機のデジタル化を考慮し、デジタル無線本体及びアンテナ等各機器の性能が十分発揮できる位置に設置し、各配線が施せるよう空間を設けること。
（９）　配線等は別記１を参考とすること。

３－３　車体艤装

３－３－１　一般事項

（１）　艤装は、努めてアルミ板、ステンレス鋼及び繊維強化プラスチック等を使用し、重量軽減を図り、車体重量のバランスを考慮し施工すること。
（２）　車体は、ウインチ装置（前後）、発電照明装置、クレーン装置等を装備し、資機材収納庫は、手動式アルミ片側２枚シャッターで、内部に各種資機材収納装置を設けること。
（３）　防錆、防水及び耐水性を十分考慮し工作すること。
（４）　シャシーに骨組みを取り付けるときは、リベット継手又はボルト締めとし、主要部は、ダブルナット等により緩み防止処置を施すこと。
（５）　全ての切断、溶接等の加工部は、十分な錆止め処理を施すことのほか、外傷防止の措置を講ずること。
（６）　資機材の出し入れ等で車体に損傷を及ぼす可能性がある箇所にはアルミ保護板を張ること。
（７）　車両後方から後部ステップ及び車体上部へ容易に昇降できるよう大型折りたたみステップ又は昇降用タラップを左右に設けること。また、ステップ及びタラップは、アルミ縞板とし、滑り止め措置を施すこと。
（８）　資機材収納前部右側に昇降用タラップを設けること。また、タラップは、アルミ縞板とし、滑り止め措置を施すこと。
（９）　資機材収納庫下部は、大型収納庫を設け、扉は、下開きとし、開放時は、ステップ（チェーンレス）として使用するためアルミ縞板張りとすること。
（10）　車両後輪のフェンダー部分は、開閉でき、ステップ兼用の扉とし、ステップは、アルミ縞板張りとすること。
（11）　大型収納庫扉及び車両後輪フェンダー扉のサイドに反射テープを貼り付けること。
（12）　資機材収納庫側面上部に赤色警光灯等を取り付けるための嵩上げ部を設けること。
（13）　車両上面は、アルミ縞板張りフラット面とし、ロープフックを取り付け、資機材の固定に使用するほか、使用しないときは収納されていること。（取付箇所及び数量は、別途協議）
（14）　後部牽引金具は、シャシーフレームに大型車両牽引フックを取り付け、走行時に離脱しないようロック装置を設けること。
（15）　救助活動用支持点フックは、車両前部にピンドルフック２個及びバウシャックル２個、後部にバウシャックル２個、後輪タイヤハウス内環フック各２個、車両上面及び嵩上げ部に小型シャックル１０個取り付けること。
（16）　車両後部バンパー下部に羽合ボートトレーラー（ＳＯＲＥＸ製　ＢＯＡＴ１４ＦＷＢ）を牽引できるよう、牽引装置（ヒッチメンバー）を取り付けること。また、道路運送車両法等関係法令による手続きを行うこと。

３－３－２　資機材収納

（１）　積載ボックスの構造は、中央で左右に分割し、両側面を４から５区画とする。さらに収納物に合わせ棚を細分すること。なお、積載ボックスは、ユニット式の車体と分割した構造とし、容易に変更改造できるものとすること。
（２）　各種資機材の収納は、次によること。
　ア　可能な限り同一用途にまとめること。

イ　すべての資機材は、原則として、アルミボックス（取手付）に収納することとするが、努めて軽量化を図ること。
ウ　ボックス区画はそれぞれの資機材の現物に合わせること。また、水抜き穴を設け、必要に応じ排水パイプを取り付け、車外に排水できる構造にすること。
エ　固定金具、ベルト等により転倒防止を施し脱着が容易（ワンタッチ）にできるものであること。
オ　レール、ローラー等を設け、必要に応じ、木板、厚ゴム板等を敷くこと。
カ　重量のある積載物の格納配置については、できるだけ下方に積載すること。また、高所の資機材にあっては斜降引出式等の措置を施すこと。
キ　積載小物類品は、取り出しを容易にするため、まとめて収納すること。

（３）　梯子昇降装置を車両上部に設け、チタン製三連梯子、鍵付梯子及び鳶口２本を積載し、車両のステップ等に上がることなく、地上から一人で容易に引出展開及び収納できる構造とすること。
（４）　資機材格納箱を車体上部に取り付け、扉の開閉は、ダンパー式とし、必要に応じて積載クレーンを使用して積み下ろしができるよう吊り下げフックを４箇所設けること。
（５）　バスケット担架等の大型機材の収納については別途協議する。
（６）　大型油圧機材の積載は、超高圧油圧発生装置、油圧ホースリール、スプレッダー及びカッターを常時接続した状態で収納し、油圧ホースリールは引き出し式にすること。
（７）　ロープ、カラビナ等は、吊り下げフック式のレール引き出し式とし、下部は、箱型でレールを引き出した時に一体で出てくる構造とすること。また、手前側にパンチングカバーを張り、カラビナ等の小物を収納でき、両側面は、引っ掛かり防止のパンチングカバーを張り、容易に出し入れができること。
（８）　空気ボンベ６本をワンタッチで脱着容易な金具を取り付けること。
（９）　車両後部より収納庫上部２ヶ所へ長尺資機材を収納でき、かつ、容易に出し入れができること。
(10)　車両両側の便利な位置に車輪止各２個の収納枠を設けること。
(11)　車両後部の適当な位置に２０型消火器を１本取り付けること。
(12)　資機材の出し入れ等により、塗装が剥がれ易い箇所にはアルミ保護枠を張ること。

３－３－３　シャッター
（１）　耐久性及び防水性の高いものとし、かつ、軽量化を図ること。
（２）　開閉は、手動式とすること。
（３）　完全ロック装置を設け、走行時の振動等により誤開放しないこと。
（４）　キャビン内でシャッター及び扉の開閉がわかる確認ランプを設けること。

３－３－４　自動エンジン回転制御装置
（１）　下記アからエの装置を操作する際に、最適なエンジン回転数を自動的に選択する装置を設けること。また、誤動作による各装置の破損を防ぐため、併用時には優先される装置の最適回転数を自動的に選択したうえでこれを維持し、装置の運用効率を高めること。

ア　ウインチ装置
（ア）　レバー又はスイッチを操作したときのみエンジン回転数が最適状態となること。
（イ）　レバー又はスイッチを操作しないときは、エンジン回転数がアイドリング状態に戻ること。
（ウ）　発電照明装置と併用時には、発電機の最適回転数を優先すること。

イ　クレーン装置
（ア）　発電照明装置と併用時には、発電機の最適回転数を優先し、各レバーを最大に操作したときであってもエンジン回転数が変わらないこと。
（イ）　発電照明装置と併用しないときは、フルレバーに応じ最大能力回転数での操作ができること。

ウ　発電照明装置
（ア）　配電操作盤に、自動的に発電機の最適回転数までエンジン回転を調整し、発電誘起

するロック式スイッチを設けること。
（イ）　ロック式スイッチをオフにしたときは、エンジン回転数がアイドリング状態に戻り、発電を停止すること。

エ　超高圧油圧発生装置

（ア）　大型油圧救助器具を操作したときのみエンジン回転数が最適状態となること。
（イ）　大型救助器具を操作しないときは、エンジン回転数がアイドリング状態に戻ること。ただし数秒間のタイムラグを設定すること。
（ウ）　発電照明装置併用時は、発電機の最大回転数を優先すること。

３－３－５　フロントウインチ（油圧式）

車両シャシーバンパーを伸長（可能な限り短く）し、キャビンチルト時に障害とならないように中央に取り付け、振動、ねじれ等に十分耐える強度を有すること。また、アルミ縞板製カバーを取り付け、ステップとしても利用可能とすること。

（1）	駆動方式	トランスミッションＰＴＯ油圧式
（2）	能　力	最大直引５ｔ以上
（3）	ワイヤーロープ	径１３㎜、長さ５０ｍ以上
（4）	操　作	有線リモコン及び手動操作が可能なもの リモコンの取出しは、車両前後部各１個設置
（5）	安全装置等	過負荷及び逆転防止装置並びに乱巻き防止装置
（6）	ガイドローラ	四方ガイドローラー型又はトランペット型
（7）	先端アイフック	５トン用、安全チャック付、防錆メッキ
（8）	附属品等	専用３ｔ滑車、ワイヤーロープ（１２㎜×５ｍ）２本、ワイヤーロープ（１０㎜×２ｍ）２本及びリモコン延長コード（１０ｍ）１本
（9）	コントローラ	ウインチ本体近くに取り付け、防水型ボックスとし、接続した状態で収納できること。
(10)	ウインチドラム	クラッチが「断」の状態で、手動でワイヤーを引き出せること。
(11)	引っ張り速度	発電照明装置併用時でも１～１２ｍ／分とし、無段階で変則操作ができる方式とする。

３－３－６　リアウインチ（電動式）

リア中央部に振動、ねじれ等に十分耐えることができる強度を有する架装とし、コントローラは、ウインチ本体近くに取り付け、防水型ボックスとし、接続した状態で収納できること。

（1）能　力	最大直引５ｔ以上
（2）電　源	車両バッテリー２４Ｖ
（3）操　作	有線リモコン、かつ、手動操作が可能なもの
（4）安全装置等	過負荷及び逆転防止装置、乱巻き防止装置及び四方ガイドローラ
（5）ワイヤーロープ	径９㎜、長さ１５ｍ
（6）先端アイフック	５ｔ用及び安全チャック付のもので、かつ、防錆メッキが施されたもの。
（7）点検口	開閉式

３－３－７　クレーン装置

クレーン装置を車両後部のシャシーフレームに架装し、クレーンフック受台を車体上部に取り付けること。

（1）クレーン容量	最大２.９ｔ以上
（2）ブーム長	最大５.３ｍ以上のもので、３段ブームであるもの。
（3）地上揚程	最大７.３ｍ以上
（4）作業半径	最大５.３ｍ以上
（5）駆動方式	トランスミッションＰＴＯ油圧式
（6）フック	自動格納式であり、ブームを伸ばす等してもフックが水平移動する機

能を有すること。

（7）操　作　　操作レバー及びラジコン（ジョイスティック型）

（8）安全装置等　　デジタル式荷重計、巻過防止装置、ワイヤー抑え装置、ブーム及びアウトリガー未格納警報装置、水準計、流量調整弁

（9）照明灯　　ブーム先端に取り付け、照明方向は、下向きであること。

(10) アウトリガー　　両側アウトリガー（反射テープ巻付）の端部に、ジャッキ保護カバー及びＬＥＤ灯を事故防止のため設けること。専用敷板（取手付）を左右に取り付けること。

(11) 附属品等　　スリング３ｔ用３ｍ２本及び３ｔ用５ｍ２本、玉掛け用ワイヤー５ｍ２本、３ｔ用シャックル３個、手摺付保護板及びガード付作業灯２個

(12) その他　　クレーン用油圧ポンプ作動油交換を容易にするため、交換パイプを車体下部まで下げ、ドレンコックを設けること。

３－３－８　屋上上昇式発電照明装置

夜間のあらゆる災害時の照明及び電源供給に十分な能力を有し、発電装置、操作配電盤、投光器及び伸縮装置で構成されること。取付けにあってはクレーン操作に支障のないようにすること。発電装置にあってはＰＴＯによるものとする。収納時は、自動的に定位置に戻ること。

（1）　発電装置

投光器等に安定した電源を供給するもので、負荷の急変に対して一定の電圧を保つ定電圧装置をもち、発電機の回転数が表示できるものであること。また、車載用にされたもので長年の使用に耐えられるものであること。

ア　出　力　　１０ＫＶＡ以上

イ　電　圧　　１００Ｖ、変動率５％以下

ウ　電　流　　１００Ａ

エ　相　数　　単相

オ　周波数　　５０Ｈｚ/６０Ｈｚ

（2）　操作配電盤

制御盤及び配電盤で構成され、発電機と照明装置への電源供給操作を一体化したもので、必要最小限の大きさとし、各計器等は、合理的に配置されていること。また、扉は、防滴構造とすること。

ア　計器類　　交流電圧計、交流電流計、周波数計及び回転計

イ　盤面照明灯　１個（灯上昇中ランプ）

ウ　コンセント　盤面４個、車体２個　１５Ａ用、抜止式

エ　スイッチ　　同容量のノンヒューズブレーカーを設けること。

オ　電圧調整器　手動により定格電圧の±５％範囲に設定ができる電圧調整器を設けること。

カ　操作盤　　絶縁性、耐電圧性、強度的に優れたもので、最小限の大きさで各計器スイッチ類は、合理的に配列されていること。
自動回転制御装置用のロック式スイッチを設けること。
内部電流回路は、露出面を極小とし、他の部分と十分な間隔がとれ、かつ、整然と組み込まれていること。
車両走行用の回転調整装置を設け、発電機駆動用のエンジン調整レバーを取り付けること。なお、この調整時にはシャシー装備の専用ガバナー装置が有効に作動すること。

（3）　投光器

車体屋根上面に折りたたみ状態で収納でき振動に十分耐えられるよう取り付けること。また伸縮及び旋回及び上下できる構造であること。

ア　照明灯　　ＬＥＤ灯　出力１５００Ｗ以上×２灯

イ　使用電圧　　１００Ｖ

ウ　周囲灯　　ハロゲン１００Ｗ以上×２灯又は同程度のＬＥＤ灯

エ　安定器　　ＭＢ－６００－２又は同等品

オ　予備品　　周囲灯予備球１個、ヒューズ類一式及び伸縮装置用オイル５Ｌ缶１個

（４）　伸縮装置

電動式又は油圧式で伸縮するもの出ること。

ア　伸縮長　　６ｍ（地上高）

イ　伸縮段階　　４段

ウ　駆動角度　　旋回３６０度、ふ仰１８０度

エ　操作　　無線及び有線リモコン式（手動可能）

３－３－９　超高圧油圧発生装置

（１）　駆動方式　　超高圧ポンプは車両のトランスミッションＰＴＯより駆動させること。

（２）　取り付け等　車体の左側（２ライン）に油圧システム開閉操作レバーをそれぞれ設け、２段階ポンプ構造で超高圧が容易に取り出せる構造とすること。

（３）　油圧ホース　リール（２０ｍ）は引き出し式の回転台（ロック付け）とすること。なお、ホースリールは、容易に取り外しできる構造とすること。

３－３－１０　警報・警光装置及び灯火類

（１）　キャブ内の電装関係

ア　サイレンアンプは、大阪サイレンＴＳＫ‐５１０２Ｖ又は同等品とし、前席中央コンソールボックスに設置すること。（音声メッセージは、別途協議）

イ　１０連スイッチボックスは、大阪サイレンＳＢＷ‐１００又は同等品とし、前席中央コンソールボックスに設置すること。（スイッチ名称については、別途協議）

ウ　前席中央コンソールボックスに１００Ｖコンセント２口を取り付けること。

エ　フレキシブルＬＥＤ灯を助手席側と後部席両側に取り付けること。

オ　室内大型ＬＥＤ灯は、室内中央に配置し、運転に支障のないように遮光板を設置すること。また、ＯN/ＯＦＦ/ＯＰＥＮの選択ができること。

カ　ＰＴＯ作動確認パイロットランプは、運転席から容易に見える位置に取り付けること。

（２）　キャブ外等の電装関係

ア　車両前部パネルにＬＥＤ補助赤色警光灯保護枠付、ウィレンＣＳ６００Ｌ２４又は同等品を２個取り付けること。

イ　車両側面収納庫上部にＬＥＤ補助赤色警光灯、ウィレンＣＳ６００Ｌ２４又は同等品を左右各２個取り付けること。

ウ　車両後部にＬＥＤ補助赤色警光灯保護枠付、ウィレンＣＳ６００Ｌ２４又は同等品を２個取り付けること。

エ　車両側面収納庫上部にＬＥＤ作業灯、ウィレンＣＳ６００ＬＺ２４又は同等品を左右各２個取り付けること。

オ　車両後部にＬＥＤ作業灯保護枠付、ウィレンＣＳ６００ＬＺ２４又は同等品を２個取り付けること。

カ　車体上面の足元を照らす小型ＬＥＤ作業灯を４個取り付けること。

キ　車両最後部左右にＬＥＤサイドマーカーランプをスモール点灯に連動するよう取り付けること。

ク　路肩灯、後輪照射ＬＥＤ灯を保護枠付きで取り付けること。

ケ　資機材収納庫内にＬＥＤ灯を設け、各資機材を有効に照射できるようにすること。また、スイッチは、シャッター及び扉が開閉すると同時に点灯消灯できる構造とし、前席中央コンソールボックスにスイッチ及びパイロットランプを設けること。

コ　各装置の電装用スイッチパネル及び無線機等の収納は、前席中央部コンソールボックスとし、次に掲げる各装置を容易に行うことができるように銘板及びＬＥＤ照明付きで設けること。また、必要と思われるもので運転手が目線を落とすことなく操作できること。

（ア）　盤面ＬＥＤ灯

（イ）　赤色警光灯スイッチ

（ウ）　サイレンスイッチ

（エ）　標識灯スイッチ
（オ）　マルチスロットルコントロールスイッチ（ロック式）
（カ）　シャッター開閉確認ランプ
（キ）　照明塔上昇確認ランプ
（ク）　マイク掛け
（ケ）　無線機取付部の確保
（コ）　ＡＶＭ装置の液晶ディスプレイ取付架台の設置
（サ）　１００Ｖコンセント２口

サ　防水型蓋付１００Ｖ１５Ａ２口型車外コンセントを発電機より電源を供給し、車体左側前部及び右側後部にそれぞれ設置すること。

シ　車両バッテリーを管理できる全自動充電器（車両に適合する最新機種）を装備し、マグネット式電源ソケットをキャブ右側下部に取り付けること。

ス　車両用バッテリー（カバー付）は、工具等を使用することなく引き出せる構造とすること。また、艤装関係の配線はバッテリー端子に直接接続せず専用端子を設けて取り付けること。

セ　エンジン点検ＬＥＤ灯を取り付けること。

ソ　車両後部メタハラ投光器２４Ｖ１５０W又は同程度のＬＥＤ投光器を１ｍ手動伸縮柱付で補助照明として設けること。

タ　すべてのスイッチは、誤触による作動を防ぐため保護枠付きとすること。

３－４　塗　装

（１）　塗装は、十分な錆止め下地処理の後、朱色に塗装すること。
（２）　ボディー各部に取り付けられた部品と取付部に不塗装部分がないようにすること。
（３）　シャッター及びボックスの内部は、グレー塗装とすること。
（４）　外部に露出している砲金部分にはすべて、クロームメッキを施すこと。ただし、アルミ及びステンレス類は除く。
（５）　シャッターは、朱色塗装すること。

３－５　記名表示

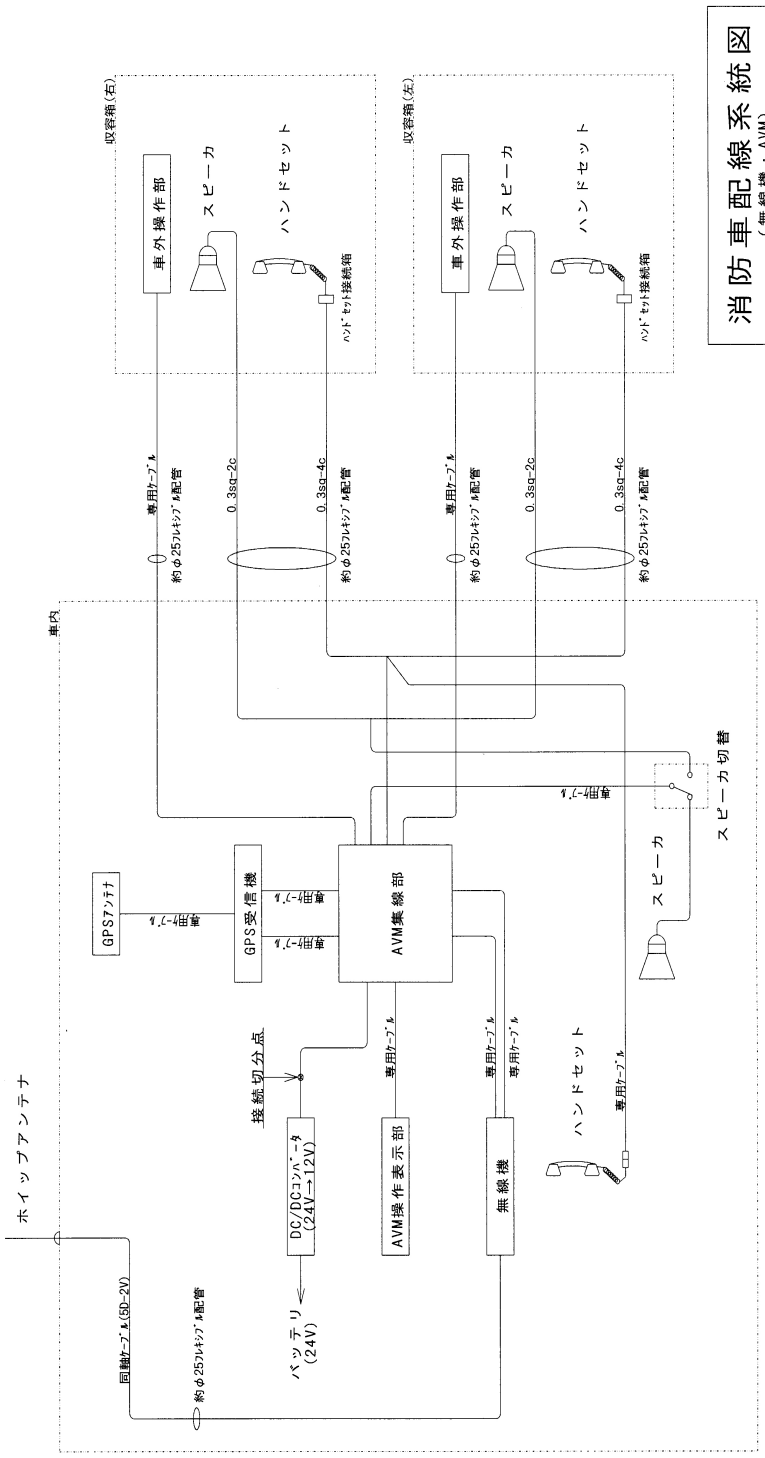
（１）　機器の操作部分には、操作ネームプレートを取り付けること。
（２）　車両に次の文字及びデザインを取り付けること。詳細については別途指示する。

ア　標識灯　　「倉Ｒ」　黄地に黒文字
イ　キャビンドアー　　「鳥取中部消防局」　白反射シール
ウ　キャビン上部　　「倉Ｒ」　黒文字
エ　両側面シャッター　　「鳥取中部消防局」「特別救助隊」及び別途指示デザイン
オ　後面　　「鳥取中部」「ＴＯＴＴＯＲＩ.ＣＨＵＢＵ　Ｆ.Ｄ.」白反射シール

３－６　その他

（１）　仕様書別紙を参考に車両及び救助用資機材を製作及び装備すること。

別記１　「無線機とＡＶＭ端末装置（ＧＰＳ付）の取り付けについて」



1．電気系　車両は基本的に Batt 電圧 24V を搭載しているものとして、DC/DC コンバーターが必要になる。(DC24V→DC24V) よって車両メーカー側において DC/DC コンバーターを設置し、AVM 集線部取付け場所付近に DC12V 出力を配線すること。

2．アンテナ系　移設ではなく新設すること。車両メーカー側においてアンテナの取付け、同軸ケーブルの敷設をすること。無線機側の同軸接線は、機器メーカー側で準備するものとし、無線機取付け場所付近に同軸ケーブルに余長を持たせること。線種は系統図の 5D-2V とすること。

3．車両メーカー側での配線、配管　約Φ25 フレキシブル配管及びスピーカ・ハンドセット用ケーブルの配管、ケーブルの入線をすること。

4．その他　アンテナ取付け部に 1ｍ四方以上の導体がない場合は、アンテナアース導体を室内側に 1ｍ四方以上設置すること。

仕様書別紙

シャシー

	品目	型式等	数 量	備考
1	シャシ5.5t級 4WD ダブルキャブ	排気量5,000cc以上、低床、ABS付、パワステ、電動ウインドー、その他	1 式	
2	エアコン	純正品	1 式	
3	オイルパンヒーター	コード付	1 式	
4	キャブチルト装置	上部障害停止機能付	1 式	
5	後退警報器	ブザー音	1 式	
6	オルタネーター	適応品	1 式	
7	サンバイザー	運転席及び助手席	1 式	
8	メインスイッチ	ハンドル周囲取付	1 式	
9	ドアバイザー	各ドア上部、ワイド型	1 式	
10	施錠(集中ドアロック)	予備キー2個、キーレスエントリー2個	1 式	
11	トランスミッションPTO		1 式	
12	フロアマット	全席	1 式	
13	タイヤ	スタッドレスタイヤ、アルミホイール、常履	6 式	

艤装(車両)

	品目	型式等	数 量	備考
1	艤装	車体艤装	1 式	
2	カーナビゲーション	カロッツェリアAVIC－MRZ07又は同等品	1 式	
3	バックカメラ	カロッツェリアND－BC5又は同等品、駐車アシスト線表示	1 式	
4	ドアステップランプ	各ドア、LED式	1 式	
5	面体掛けフック	後部座席背面	5 式	
6	呼吸器取付装置	ワンタッチ式	4 式	
7	握り棒	前後席間、ステンレス製	1 式	
8	ネットシェルフ	天井部	2 式	
9	フレキシブルLED灯	助手席、後部座席両側	3 式	
10	大型室内LED灯	ON、OFF、OPENスイッチ	1 式	
11	停止表示板	両面表示、収納ケース付	1 式	
12	タイヤチェーン	SCC JAPAN製 ハイブリッドまたは同等品	1 式	
13	車両バッテリー充電器	車載式、マグネット式ソケット	1 式	
14	車両バッテリー引出装置	カバー付	1 式	
15	車輪止	樹脂又はゴム性、収納枠	4 個	
16	キャブルーフ	流線型ルーフ、一体型赤色蛍光灯、スピーカー	1 式	
17	消防章	ボンネット中央、メーカーエンブレム取外し	1 式	
18	旗立てパイプ	キャブ左後部、ステンレス製	1 式	
19	地図入れボックス	A3サイズ	1 式	
20	車両両側面無線ボックス	送受話器、スピーカー、AVM端末取付	2 式	
21	ステップチェーンレス		4 式	
22	支持点フック(前部)	ピンドルフック	2 式	
23	支持点フック(前部)	バウシャックル	2 式	
24	支持点フック(後部)	バウシャックル	2 式	
25	側面環フック	後輪タイヤハウス内各2ヶ所	2 式	
26	小型シャックル	車両天井部、車両側面嵩上げ部	10 式	
27	ボートトレーラー牽引装置	牽引装置(牽引トレーラー SOREX製:BOAT14FWB)	1 式	
28	はしご昇降装置とび口取付		1 式	
29	資機材収納庫(車両上部)	扉開閉ダンパー式、フック付	1 式	
30	車両後部上収納庫		2 式	
31	バスケット担架収納庫		1 式	
32	ロープ等引出レール収納庫	吊下げフック及び箱型	1 式	
33	消火器	粉末消火器ABC20型	1 式	
34	自動エンジン回転制御装置		1 式	
35	ネームプレート	機器操作部	1 式	
36	記名表記・デザイン	車両各部	1 式	
37	シャッター塗装	朱色	1 式	

38	車両側面収納庫上部嵩上げ		1 式	
39	大型折り畳みステップ	又は昇降用タラップ	1 式	
40	牽引フック		1 式	
41	サイド環フック	車両側面後輪付近	2 式	
42	無線機及びAVM	移設取り付け	1 式	

艤装(ウィンチ装置)

	品目	型式等	数 量	備考
1	フロントウインチ	油圧式、5t以上、ワイヤー13mm*50m以上、リモコン、その他	1 式	
2	リアウインチ	電動式、5t以上、ワイヤー9mm*15m以上、リモコン、その他	1 式	
3	ワイヤー	ワイヤーロープ12mm×5m×2本、10mm×2m×2本、滑車3t	1 式	

艤装(クレーン装置)

	品目	型式等	数 量	備考
1	クレーン本体	容量2.9t以上、長さ5.3m以上3段、PTO油圧式、フック水平・自動格納機能、安全装置、照明、アウトリガー、ドレンコック、連動ラジコン	1 式	
2	敷板	取手付、収納枠付	1 式	
3	スリング	3t用3m×2本、3t用5m×2本	4 式	
4	玉掛け用ワイヤー	10mm×5m×2本	2 式	
5	シャックル	3t用	3 式	

艤装(屋上上昇式発電照明装置)

	品目	型式等	数 量	備考
1	発電装置	出力10KVA以上、電圧100V、電流100A、単相、周波数50Hz/60Hz	1 式	
2	操作配電盤	計器類、盤面照明、コンセント、	1 式	
3	投光器	LED灯1500W以上*2灯、周囲灯、安定器、予備品	1 式	
4	伸縮装置	地上高6m、4段、旋回360度、ふ仰180度、リモコン	1 式	

艤装(超高圧油圧発生装置)

	品目	型式等	数 量	備考
1	超高圧油圧ポンプ	PTO駆動、常時接続、2ライン同時使用	1 式	
2	油圧ホースリール	ホース20m、引き出し式、取り外し構造	1 式	

艤装(警報・警光装置・灯火類)

	品目	型式等	数 量	備考
1	サイレンアンプ	大阪サイレンTSK-5102V又は同等品	1 式	
2	10連スイッチ	大阪サイレンSWB-100又は同等品	1 式	
3	100Vコンセント	前席中央コンソールボックス内2口	1 式	
4	車両前部パネルLED補助警光灯	ウィレンCS600L24×2個又は同等品、保護枠付	1 式	
5	車両側面収納庫上部LED補助警光灯	ウィレンCS600L25×左右各2個又は同等品	1 式	
6	車両後部LED補助警光灯	ウィレンCS600L26×2個又は同等品、保護枠付	1 式	
7	車両側面収納庫上部LED作業灯	ウィレンCS600LZ26×左右各2個又は同等品	1 式	
8	車両後部LED作業灯	ウィレンCS600LZ26×2個又は同等品、保護枠付	1 式	
9	キャブルーフ側面LED補助警光灯	ウィレンCS600L26×4個又は同等品	1 式	
10	モーターサイレン	大阪サイレン6SA又は同等品	1 式	
11	標識灯	キャブルーフ側面	2 式	
12	車両最後部LEDサイドマーカー	左右	1 式	
13	路肩LED灯、後輪照射LED灯	左右、保護枠付	1 式	
14	資機材収納庫内LED灯	有効数、開閉同時点灯・消灯、車両上部足元灯	1 式	
15	エンジン点検LED灯		1 式	
16	車両後部投光器	LED24v150w相当、1m手動伸縮	1 式	

救助用資機材（省令別表第1による機材）

一般救助用器具

	品目	型式等	数 量	備考
1	鍵付梯子	KHFL-TOT31	1 個	
2	三連梯子	KHRF-87 （付属品TRC-02、TRS-50L、TRX-167付）	1 個	
3	空気式救助マット	ライフキューブ MODEL1515 又は同等品	1 個	
4	救命索発射銃	レスキューMAX又は同等品（交換部品の少ないもの、関係法令の申請・届出不要のもの）	1 式	
5	平担架	万能型「G-0119」又は同等品	1 個	
		ハイテクバックボード、ヘッドイモビライザー、固定ベルト	1 式	
6	ロープ	ゴールドレンジャーロープ白	2 個	
		ゴールドレンジャーロープ染	2 個	
7	滑車	TR300又は同等品	10 個	
8	カラビナ	ワンツースリー KA102WS ステンレス、ダブルストッパー又は同等品	40 個	

重量物排除用器具

	品目	型式等	数 量	備考
1	油圧ジャッキ	ルーカスシリンダーR420又は同等品	1 個	
		ルーカスラムサポートLRS－C又は同等品	1 個	
		ルーカスレスキューブロックセット（収納箱、ステップ付）又は同等品	2 式	
2	電動油圧救助資機材	ルーカスeドローリック コンビツールSC350E、チェーンセット、ハードケース又は同等品	1 式	
3	可搬式ウインチ	チルホールTU-16又は同等品	1 式	
4	ワイヤーロープ	8㎜×3M=2本、10㎜×5M=2本、シャックル付	8 式	

切断用器具

	品目	型式等	数 量	備考
1	エンジンカッター	ハスクバーナーK1260、ダイヤモンドブレード14インチ替刃2枚、鉄鋼用14インチ替刃40枚付、火花遮断シート付 又は同等品	1 式	
2	ガス溶断器	ペトロゲン ポルタカットシステム6000J	1 式	
3	救助用チェンソー	STIHL製MS460-R、替刃付又は同等品	1 式	
4	絶縁ボルトクリッパ	ZBC-600 又は同等品	1 式	

破壊用器具

	品目	型式等	数 量	備考
1	万能斧	消防局支給品を積載すること。	5 本	
2	ハンマー	10ポンド	1 本	
3	携帯用コンクリート破壊器具	ハンディブレーカー（ビートル付）	1 式	

検知測定用器具

	品目	型式等	数 量	備考
1	可燃性ガス測定器	消防局支給品を積載すること。	1 式	

呼吸保護用具

	品目	型式等	数 量	備考
1	空気呼吸器	消防局支給品を積載すること。型式：シゲマツ製ライフゼムA1、予備ボンベ930C	4 式	

隊員保護用具

	品目	型式等	数 量	備考
1	耐電手袋	消防局支給品を積載すること。	5 双	
2	安全帯	TSUYORON（藤井電工） 2WAYリトライト安全帯消防型又は同等品	15 個	
3	防塵メガネ	ヤマモト YG－5600 又は同等品	5 個	
4	防毒マスク	面体6800DIN、吸収缶FR-64、フィルター2枚組 2091又は同等品	5 式	
5	革手袋	トンボ製 C－530 サイズ3L 又は同等品	20 組	

水難救助用器具

	品目	型式等	数 量	備考
1	ウェットスーツ	アクアラング　ステイタス、フルウエットスーツ(フード付)、マリングローブ、アクアブーツ、各サイズM×1、L×2　又は同等品	3 着	
2	水難ヘルメット	アクアラング　潜水用ヘルメット(サイズM×1、L×2)　又は同等品	3 個	
3	救命ボート	アキレス　RJB－380、エアーガン300、文字入り	1 式	
4	水難用ロープ	ファイントラックフローティングロープ6.5mm×200m イエロー FWG0204　又は同等品	1 巻	
5	ロープ収納バック	フローティングロープ 6.5mm×200m収納	2 個	
6	スローバッグ	ゴージュバッグ 15 イエロー/ブルー FWG0108又は同等品	4 個	

山岳救助用器具

	品目	型式等	数 量	備考
1	登山器具一式	別記のとおり	1 式	
2	バスケット担架	タイタンＴＩスプリットワイヤーストレッチャー(分割式、専用固定ベルト付、フェイスシールド付、ストレッチャーハーネスキット付)又は同等品	1 基	
		ハーフ　スケッドストレッチャー又は同等品	1 基	

その他の救助用器具

	品目	型式等	数 量	備考
1	投光器一式	ヤマハSR－E028、コードリール　又は同等品	1 式	
2	携帯投光器	ストリームライト　ファイアバルカンLED、標準セット　又は同等品	5 個	
3	携帯拡声器	ハンドコンパクト拡声器 S-447　又は同等品	3 基	
4	保護用具	シルバーフォックス　エルボー及びニーパッドセット　又は同等品	20 式	
5	合図灯	ポーター工業RKC-2又は同等品	8 本	
6	隊員連絡機	ケンウッド製UBZ-LM20、Liバッテリー、充電器、2口タイプ充電器×4　又は同等品	10 台	
7	大規模災害等雨天活動衣	東レ　透湿MOAシータレインスーツA-660、「鳥取県　中部消防局」背中・左胸プリント含む×30着　又は同等品	5 式	
8	双眼鏡	ニコン製　モナーク　10*42D　又は同等品	4 個	
9	伸縮式コーン	ライトアップコーン　(LED点灯式)	10 個	
10	ガソリン携行缶	5リットル×3個、10リットル×3個	1 式	
11	レスキューベスト	キット製　オリジナルベスト、文字プリント	10 着	
12	インサルマット衛星携帯電話	アイ・サットフォンプロ、申請及び手続き等含む	2 台	
13	ポータブルCAFS	YONE製DP101J　又は同等品	1 式	

救助用資機材(省令別表第2による機材)

重量物排除用器具

	品目	型式等	数 量	備考
1	大型油圧スプレッダー	ルーカスSP310又は同等品	1 個	
		ルーカススクイージンクセット又は同等品	1 個	
		ルーカスチェーンセットKSS-20又は同等品	1 個	
		ルーカスドアオープナーHTS90又は同等品	1 個	
		ルーカスハンドポンプZPH3/4又は同等品	1 個	
2	マット型空気ジャッキ	消防局支給品を積載すること。	1 式	

切断用器具

	品目	型式等	数 量	備考
1	大型油圧切断機	ルーカスカッターS-511、替刃付又は同等品	1 個	
		ルーカスペダルカッターLSH-4、ガラスカッター付又は同等品	1 個	
		ルーカスホースリールDHR-20又は同等品	1 個	
		ルーカス延長ホース5m、2色2本ずつ又は同等品	4 個	
2	空気式鋸	消防局支給品を積載すること。	1 式	
3	空気切断機	パクハンマー90　型式SR－550505－5232、先端工具10種　又は同等品	1 式	

破壊用器具

	品目	型式等	数 量	備考
1	削岩機	HILT製　TE1500-AVR又は同等品	1 台	
2	ハンマドリル	HILT製　TE70又は同等品	1 台	

呼吸保護用器具

	品目	型式等	数 量	備考
1	酸素呼吸器	消防局支給品を積載すること。	5 台	
2	酸素ボンベ	シゲマツ製OXY　GEM用	5 本	
3	防塵マスク	MSAアドバンテージ310-JP95又は同等品	10 個	
4	送排風機	サンキ製PFE-282Y、5mダクト2本付又は同等品	1 台	
5	簡易呼吸器	パラートC　又は同等品	2 個	

隊員保護用器具

	品目	型式等	数 量	備考
1	耐電衣	消防局支給品を積載すること。	5 着	
2	耐電ズボン	〃	5 本	
3	耐電長靴	〃	5 足	

その他の救助用器具

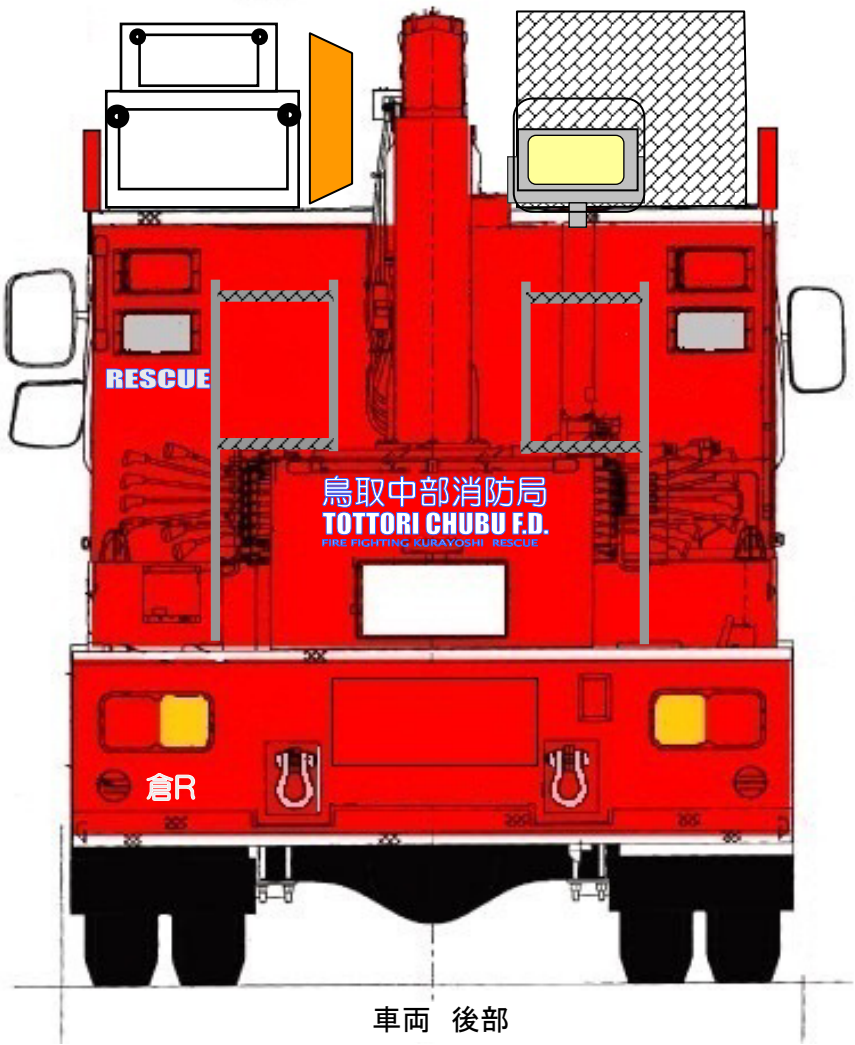
	品目	型式等	数 量	備考
1	発電機	ホンダ製　EU26i、コードリール30m防雨型又は同等品	1 台	

高度救助用資機材（省令別表第3による機材）

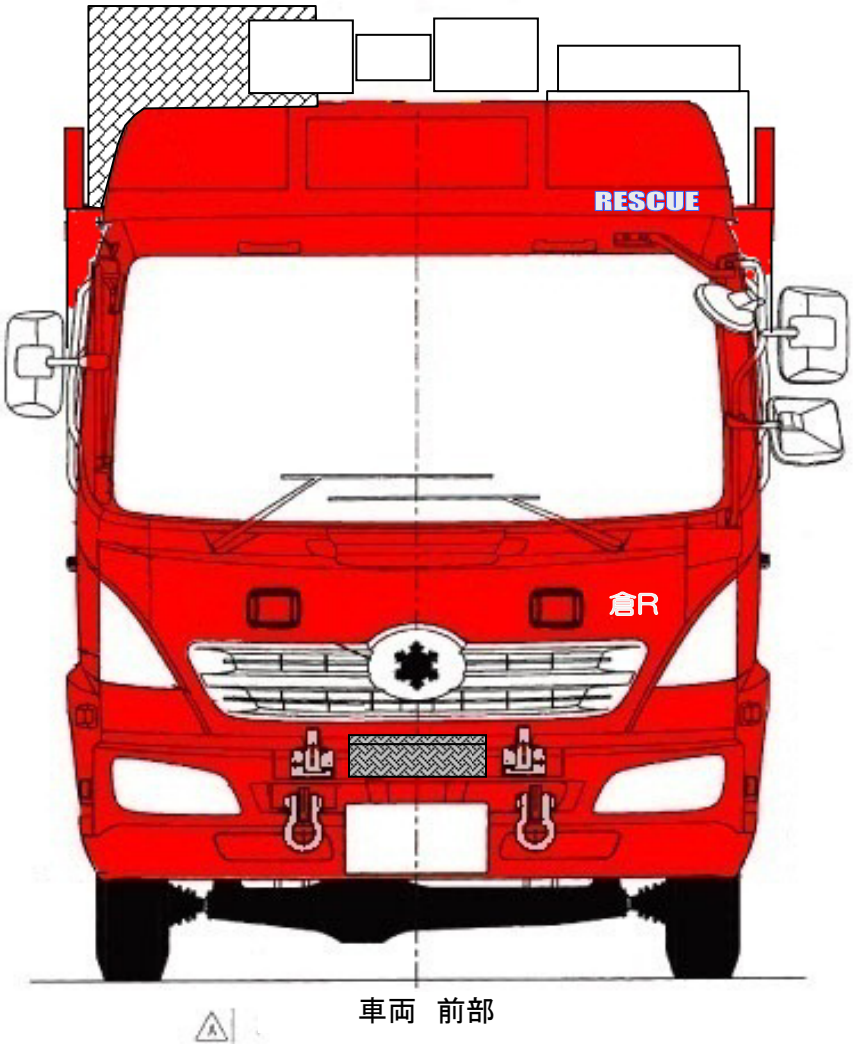
	品目	型式等	数 量	備考
1	画像探索機	消防局支給品を積載すること。	1 式	
2	地中音響探知機	デルサーLD3　MINI　又は同等品	1 式	
3	熱画像直視装置	CHINO製CPA－E60又は同等品	1 式	
4	夜間用暗視装置	ATN製ナイトビジョン・シャドウ2世代又は同等品	1 個	
5	地震警報器	Qアラート　マークⅡ又は同等品	1 式	

別記　山岳救助用器具(同等品可)

	品目	型式等	数 量	備考
1	ハーネス	ナバホシット(シットハーネス)	5 個	ペツル社
		ナバホシット(フルボディハーネス)	10 個	ペツル社
2	自己確保器具	調節型ランヤード グリヨン L52 2m	5 本	ペツル社
		ラインヤード ジェーン1.5m	20 本	ペツル社
		ラインヤード マルチループ 2m	30 本	CMC社製
3	ロープ類	パワーロープ7mm 60m パープルオレンジ	2 巻	エーデルワイス社
4	スリング類	スリングアノー80CM C40－80	30 本	ペツル社
		スリングアノー120CM C40－120	30 本	ペツル社
		スリングアノー150CM C40－150	30 本	ペツル社
		コネクションフィックス200Cm C42－200	4 本	ペツル社
5	アルミカラビナ類	OKスクリューロック M33SLN	30 個	ペツル社
		ウィリアム 洋ナシ環 M36 TLN	30 個	ペツル社
6	アンカープレート類	ポーP62 Mサイズ	12 個	ペツル社
		ポーP63 Lサイズ	4 個	ペツル社
7	プーリー類	シングルプーリー 「マインダー」	8 個	ペツル社
		ツインプーリー 「ツイン」	4 個	ペツル社
		スイーベル	6 個	ペツル社
8	ロープクランプ類	レスキューセンダーB50	6 個	ペツル社
		アッセンション R	2 個	ペツル社
		アッセンション L	2 個	ペツル社
9	降下器類	レスキューエイト(エイト環)	30 個	CMC社製
		ディッセンダーストップ D09	4 個	ペツル社
10	ロープ保護具	エッジパッド(71×86㎝)	8 個	CMC社製
11	救助用ハーネス	エバックハーネス	2 個	ペツル社
		ピタゴール C80 BR	3 個	ペツル社
12	収納バッグ	収納ケース(ナイロンロープ付) H24×W13×D8㎝	30 個	セイバーズ社製
		50Mロープ収納バック H30×W56×D37㎝	8 個	セイバーズ社製
		トランスポート・ザック(レスキュー・バッグ)S90・S120 各4個	1 式	エーデルワイス社


RESCUE
鳥取中部消防局
TOTTORI CHUBU F.D.
FIRE FIGHTING KURAYOSHI RESCUE
倉R

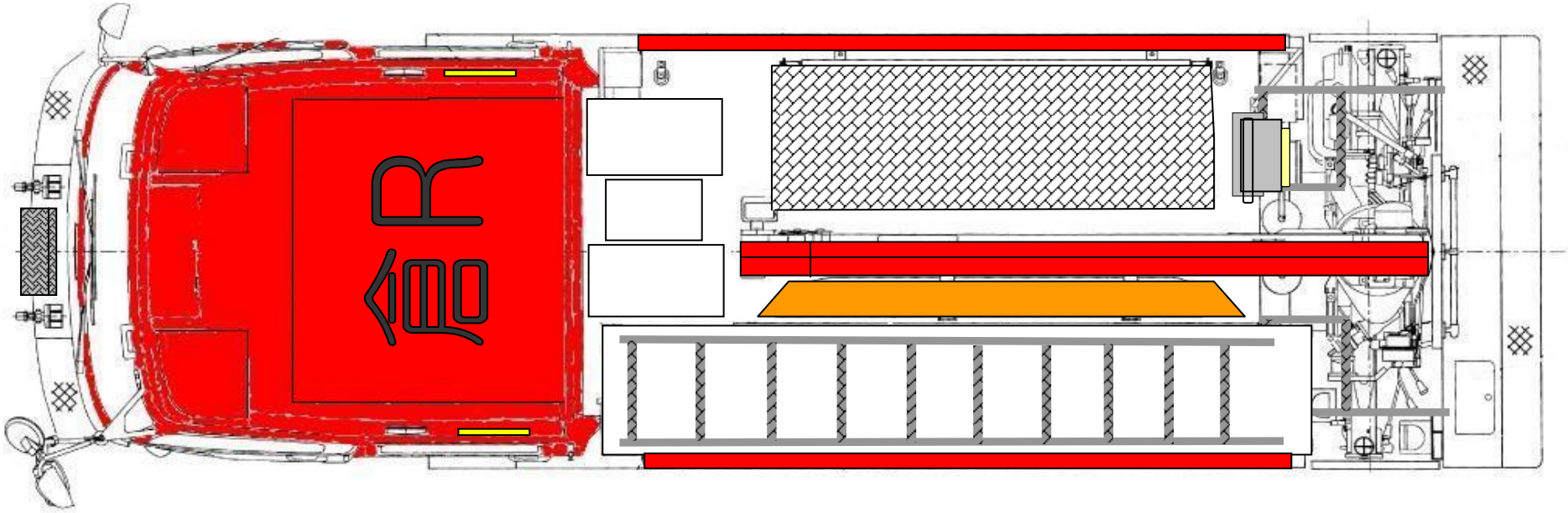
車両　後部


RESCUE
倉R

車両　前部

TOTTORI CHUBU F.D.
FIRE FIGHTING KURAYOSHI RESCUE
鳥取中部消防局
RESCUE
FIRE FIGHTING KURAYOSHI RESCUE
倉R

車両　側面



車両　上部